

2021年度入社式について

2021年4月1日
公益財団法人鉄道総合技術研究所

公益財団法人鉄道総合技術研究所（以下、鉄道総研）は、以下の通り「2021年度入社式」を行いましたのでお知らせいたします。

鉄道総研は、2021年4月1日（木）10時から、国立研究所において、「2021年度入社式」を行いました。

入社式では、経営幹部立ち会いのもと、渡辺郁夫理事長から新入職員18名一人一人に辞令が手渡されました。引き続き、理事長から新入職員へあいさつがあり、それを受け、新入職員を代表して稲場亘から答辞が述べられました。



写真 理事長から辞令を受け取る新入職員

理事長あいさつ要旨

本日18名の皆さんを鉄道総研に迎えらるることを大変うれしく思います。

さて、現在、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、鉄道事業者はかつてない大変厳しい状況となっています。当面このような状況が続くことを覚悟しなければなりません。鉄道総研としては、「革新的な技術を創出し、鉄道の発展と豊かな社会の実現に貢献する」というビジョンのもと、研究開発をはじめとする各事業を着実に進めて参りたいと思います。

昨年度から始まった基本計画RESEARCH 2025では、基本方針を5つ決めました。

第1は、「安全性向上、特に自然災害に対する強靱化」です。鉄道のオペレーションや設備の安全性の向上に資する研究開発を進めるとともに、自然災害に関しては災害リスク評価、安全かつ迅速な運転規制及び早期復旧に資する研究開発などを推進します。

第2は、「デジタル技術による鉄道システムの革新」です。喫緊の課題となったデジタル技術による鉄道システムの省力化、省人化などコスト低減や、あるいは安全性向上に資する研究開発を推進します。

第3は、「総合力を発揮した高い品質の成果の創出」です。将来指向の研究開発や、鉄道事業のニーズの高い実用的な技術開発を進めるとともに、一方では、基礎研究もしっかり進めます。複数の研究分野にまたがった研究も積極的に取り組みます。

第4は「日本の鉄道技術の国際的プレゼンスの向上」、第5に「能力を発揮でき、働きがいを持てる職場創り」です。

これらの方針は変えることなく、活動を進めて参ります。この5つの基本方針をもとに業務を進めてほしいと思います。

皆さんはこれから鉄道の研究開発を専門として仕事をしていくこととなりますが、まずは鉄道の現場をしっかりと見て知ってほしいと思います。鉄道の技術的な課題は、鉄道の現場にあります。鉄道の現場にある課題の本質を見極めて、そして皆さんが今後得ていく知識やスキルを



写真 新入職員へあいさつする渡辺理事長

活用して、課題解決のための研究開発に取り組んでほしいと思います。

仕事を進めるにあたって、いつも私が職員に伝えていることが3つあります。

第1は、何事も前向きに取り組んでいただきたいということです。仕事を進める上でいろいろな制約・課題も発生してくると思いますが、すぐにあきらめるのではなく、そのような制約・課題をどのようにクリアできるか、前向きに考え、取り組んでほしいと思います。

第2は、仕事の仕方、研究開発の進め方に関して、前例を踏襲するだけでなく、改善すべき点はどんどん変えてほしいと思います。そもそも研究開発では今まで誰もやっていないことを行う場面が多くあります。新しいことにも積極的にチャレンジしてほしいと思います。

第3は、情報共有です。課題をいろいろな視点で検討することが大切です。鉄道総研は人材が豊富です。研究部のメンバーに加え、他研究部、関連部門のメンバー、他組織の方々のコミュニケーションを大切しながら、仕事を進めてほしいと思います。

鉄道は今、かつてない厳しい状況にありますが、必ずこの状況は改善します。皆さんがこれから取り組むべき課題はたくさんあります。これまでの考え方、仕方を踏襲するだけでなく、チェンジを試み、新たな分野へチャレンジしていく、そのような意気込みを持って鉄道の未来を創る研究開発に取り組んでいただきたいと思います。

皆さんのこれからの活躍を期待しています。ともに元気に頑張っていきましょう。

新入職員代表者答辞要旨

本日は、大変な社会情勢の中、私どものためこのように立派な入社式を開催していただき、誠にありがとうございます。新入職員一同を代表し、心より御礼を申し上げます。

ただいま、理事長より心温まる歓迎と激励のお言葉をいただき、深く感銘を受けるとともに身の引き締まる思いでいっぱいでございます。私どもは、本日より公益財団法人鉄道総合技術研究所の一員として皆様とともに働くことを、誠に光栄に存じております。

本日賜りましたお言葉を胸に、大きな変革期を迎える社会の中で、人々の生活に豊かさをもたらす鉄道の役割について常に考え、社会の発展に貢献できるよう、邁進していく所存です。

しかしながら、私どもは若輩ゆえ、至らぬ点多々あるかと存じます。鉄道総研の名に恥じぬよう日々精進し、一研究者、一社会人として着実に前進して参りたいと考えておりますので、ご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

以上、簡単ではございますが、答辞とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。



写真 答辞を述べる新入職員